

岩本美砂子 業績一覧

- Lニザールの計画化論について（名古屋大学）法政論集 95号 1983年
- 現代フランスにおける参加論の動向について（1）（名古屋大学）法政論集 103号 1985年
- 現代フランスにおける参加論の動向について（2）（名古屋大学）法政論集 104号 1985年
- 政治概念への「女性の挑戦」——Ch.ピュシーグリュックスマンの「国家を越える政治」について（名古屋大学）法政論集 105号 1985年
- 〈共訳〉『フランス政治百科（上）』（原文）ボブ・ジェソップ 共訳：川崎信文 勁草書房 1986年
- 〈共訳〉『フランス政治百科（下）』（原文）ボブ・ジェソップ 共訳：川崎信文・古川都 勁草書房 1987年
- 〈共訳〉『プーランザスを読む：マルクス主義理論と政治戦略』（原文）ボブ・ジェソップ 共訳：中谷義和・加藤哲郎・小野耕二・後房雄 合同出版 1987年
- 『現代フランスの国家と政治』〈共著〉中木康夫編 有斐閣 1987年
- 生殖の自己決定権と日本の政策決定：1990年妊娠中絶期間2週間短縮をめぐる女性学 vol. 1 1992年
- 人工妊娠中絶政策における決定・非決定・メタ決定：1980年代日本の2通りのケースを中心に年報行政研究 28号 1993年
- 優生保護法をめぐる政治過程：1980年代の女性主体について 法の科学 22号 1994年
- フェミニズムと政治権力：ひとつではないフェミニズム 〈共著〉『現代政治学の再構成』田口富久治・加藤哲郎編 青木書店 1994年
- フォード主義国家と性役割——フレキシブルな社会を展望して（三重大学）法経論叢 11巻 2号 1994年
- 女性センターとジェンダー かながわ女性ジャーナル 13号 1995年
- フェミニズムの政治学：大いなる課題と空白 月刊フォーラム 1月号 1996年
- 女のいない政治過程—日本の55年体制における政策決定を中心に 女性学 vol. 5 1997年
- ポスト・マルクス主義フェミニズム 〈共著〉『ワードマップ・フェミニズム』江原由美子・金井淑子編 新曜社 1997年
- 〈書評〉上野千鶴子「ナショナルリズムとジェンダー」 青土社 1998年（三重大学）法経論叢 17巻1号 1999年
- 女性と政治過程 〈共著〉『ニューポリティクスの政治学』賀来健介・丸山仁編 ミネルヴァ書房 2000年
- 日本におけるフェミニズムと「政治」—『資料ウーマンリブ史（全3巻）』を中心に 立命館大学人文科学研究所紀要 78号 2001年
- 1999年統一地方選挙における女性の躍進——無党派を中心に（立命館大学）政策科学 8巻3

号 2001年

The Madonna Boom: the Progress of Japanese Women into Politics in the 1980s Political Science & Politics No. 2, 2001

女性をめぐる政治的言説——日本において、女性の政治的代表（婦人参政権・女性政治家）に関して論じられてきたこと 年報政治学 2003年

不妊が見えない〈共著〉『応用倫理学講義5 性／愛』 金井淑子編 岩波書店 2004年

ジェンダーと政治過程——テレビ・メディアの時代に〈共著〉『政治変容のバースペクティブ』 賀来健介・丸山仁編 ミネルヴァ書房 2005年

日本のドメスティック・バイオレンス防止法（2001年）制定をめぐる政治過程（三重大学）法経論叢 23巻1号 2005年

自治体におけるジェンダー問題を考える 都市問題 97巻1号 2006年

家父長制とジェンダー平等——マイノリティ女性条項が新設された2004年DV法を手がかりに 年報政治学 2006年1号

日本における政治とリプロダクティブ・ライツ アジア女性研究 16号 2007年

日本における女性政策ナショナルマシナリーの分析——「無私・無謬の官僚」の神話と女性政策マシナリーの困難（三重大学）法経論叢 24巻2号 2007年

〈翻訳〉避妊、中絶と社会主義政権（中東欧・ロシア）——産児制限のカテゴリー区分と、それらが政治的に意味するもの（原文）ダグ・ステンヴォル（三重大学）法経論叢 25巻1号 2007年

クオータが論じられない日本政治の不思議〈共著〉『政治参画とジェンダー』 川人貞史・山元一編 東北大学出版会 2007年

誰がどのような政策を支持しているか〈共著〉『政治参画とジェンダー』 川人貞史・山元一編 東北大学出版会 2007年

Electoral Reform in Mid-1990s Japan 〈共著〉Gendering the State in the Age of Globalization, Mellissa Haussman & Birgit Sauer ed., Rowman & Little Field 2007

多様な女性とリプロダクティブ・ライツ〈共著〉『男女共同参画のために——政策提言』 辻村みよ子・河上正二・水野紀子編 東北大学出版会 2008年

2005年小泉首相の下で実施された衆議院議員選挙における女性自民党候補の多様性増大について（三重大学）法経論叢 25巻2号 2008年

〈監訳〉『中絶と避妊の政治学——戦後日本のリプロダクション政策』（原文：ティアナ・ノーグレン） 青木書店 共訳：塚原久美・日比野由利・猪瀬優理 2008年

〈書評〉真淵勝『行政学』有斐閣2009 年報政治学 2010年1号

産む——産む／産まない選択が行われる制度的インフラの日仏比較〈共著〉『生きる〈政治の発見①〉』 岡野八代編 風行社 2010年

女性が変わる政治〈共著〉『民主主義・平和・地球政治』 加藤哲郎・丹野清人編 日本経済研

論社 2010年

日本の女性議員のクォータ観〈共著〉『越境するジェンダー研究』 東海ジェンダー研究所記念
論集編集委員会 明石書店 2010年

〈編集〉ジェンダーと政治過程 年報政治学 2010年2号

地域政治に欠かせないジェンダーの視点 公明 59号 2010年

自治体の意志決定への女性の進出——2011年統一地方選挙を前に 都市問題 102巻3号
2010年

リプロダクティブ・ライツをめぐる政策決定過程の比較〈共著〉『ジェンダー社会科学の可能性』
第1巻 辻村みよ子編 岩波書店 2011年

日本のジェンダーを巡る政策過程の特徴について 国際ジェンダー学会誌 11号 2013年

セクシュアル・マイノリティ（性的少数者・LGBT）について 紀要（愛知部落解放・人権研
究所） 2017年

〈共著〉労働組合活動への参加におけるジェンダー・ギャップ 共著：大倉沙江 国際経済労
働研究 74巻3号 2019年

〈書評〉三浦まり編著『日本の女性議員 どうすれば込めるのか』 朝日新聞社 2017年 ジェ
ンダー研究 21号 2019年

〈共著〉日本の国会議員の女性政策に対する態度：「2016年国会議員のジェンダー政策に関す
る意識調査」の基礎的検討 共著：大倉沙江（三重大学）法経論叢 37巻2号 2020年

『百合子とたか子——女性政治リーダーの運命』 岩波書店 2021年

